

一般国道44号(北海道横断自動車道) 別保尾幌道路に係る新規事業採択時評価

1. 事業概要



図1 広域

北海道横断自動車道根室線



図2 事業位置図

- ・起終点: 北海道釧路郡釧路町字別保原野～北海道厚岸郡厚岸町尾幌
- ・延長等: 21.2km (第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約1,250億円・計画交通量: 約9,800台／日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約6,600台/日	約800台/日	約2,400台/日

①路線概要

ほくかいどう ねむろ ほくわいどう すっつ くまつなみのちょう ほっかいどうねむる
・北海道横断自動車道根室線は、北海道寿都郡根室町から北海道根室市
に至る延長538kmの高規格道路。このうち、別称保原幌道路は、北海道釧路
郡釧路町字別保原野から北海道厚岸郡厚岸町尾幌に至る延長21.2kmの
ほくかいどう ねむろ
北海道横断自動車道根室線に並行する一般国道の自動車専用道路。

②事業目的

- ・高次救急医療施設、物流拠点、空港、港湾等へのアクセス向上により、釧路根室地域における救急搬送などの医療活動、産業振興や観光振興を支援。
・釧路根室地域は今後30年以内に大規模地震が発生する確率が高い地域であり、また、並行する国道には地吹雪や洪水浸水区域が存在しているため、災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成。

③事業実施に向けた検討状況

- ・北海道横断自動車道は、上位計画として第四次全国総合開発計画(S62.6月)、新広域道路交通計画(北海道ブロック版)(R3.4月)、第9期北海道総合開発計画(R6.3月)、北海道総合計画(R6.7月)に位置づけ

- ・地域課題等をふまえ、計画段階評価(R4.12月～R6.12月)において以下の政策目標を設定し、ルート構造を検討

- 政策目標を設けしルート構造を検討

 - ①地域の暮らしを支える高次医療施設への連携性・安定性の向上
 - ②地域の農水産業を支える輸送経路の速達性・安全性の向上
 - ③災害発生時の避難・復旧活動を支える道路の機能確保
 - ④観光促進に向けた観光ルートにおける周遊性の向上

2. 評価結果

費用 便益 分析	■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)				
	B/C	(参考)※4	EIRR※1	総費用	総便益
4%	1.4 (1.1)	1.6			11,062億円※2 (848億円※2)
[296]※3	1.9 (1.7)	2.1	5.6% (4.5%)	7,948億円※2 (770億円※2)	
[1%]※3	2.3 (2.2)	2.5			〔参考〕 走行時間倍速による便益：1,306億円 02排出削減便益：41億円

注)費用便益分析結果は、本別JCT～根室ICを対象とした場合()書きの値は事業化区間を対象にした場合

※1: EIRR: 經濟的內部收益率

※2: 基準年(令和6年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率:4.0%、社会的割引率:3.0%)

※3: 比較のために参考とすべき値として
※4: 参考ヒートで各様な便益を算出

※4: 参考として多様な便益を算出

防災機能評価	■道路ネットワークの防災機能評価結果						
	改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度		
		整備前	整備後		通常時	災害時	
	17 (3)	0.95 [C] (1.00) [D]	0.91 [C] (1.00) [D]	▲210.8 (0.00)	0.06 (0.09)	0.04 (0.00)	○ (-)

注)上記の値は、本別JCT～根室ICを対象とした場合、下段()書きの値は事業区間を対象とした場合の値(「根室町」結果)。

事業の影響

評価項目

	評価	内容
滞対策	—	注目すべき影
故対策	◎	別線整備による 〔○事故危険区間〔環〕〕
行空間	○	通過交通の転

※本事業は、リスク分析を行うとともに、着工前重点準備を実施。

一般国道44号(北海道横断自動車道) 別保尾幌道路に係る新規事業採択時評価

